

NEWS RELEASE

2021年10月14日（木）

報道関係各位

テーマパークから
地域社会を元気に！



～ 日本テーマパーク開発、アソビュー、デジタルシフト社 3社が事業提携 ～ レジャー施設経営の DX 支援を加速させ、産業の V 字回復を目指す

先行導入事例である「那須高原りんどう湖ファミリー牧場」で 9月のチケット電子化率が昨年対比 318%増となり、変革に向けて前進

「テーマパークから地域社会を元気に！」をミッションに掲げ、閉園を余儀なくされてしまうようなテーマパークを一つでも多くご支援し、社会問題を解決しながら地域社会に「元気」と「笑顔」を届けることに取り組む日本テーマパーク開発株式会社（東京都千代田区/代表取締役社長：雪本 智史、以下「当社」という）は、アソビュー株式会社（所在地：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：山野 智久、以下「アソビュー」という）と株式会社デジタルシフト（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：吉田 康祐、以下「デジタルシフト社」という）とレジャー施設の DX 推進を目的とした事業提携を開始いたします。

– Leisure DX Partners –

asoview!

DIGITAL SHIFT

NTD
NIPPON THEME PARK DEVELOPMENT

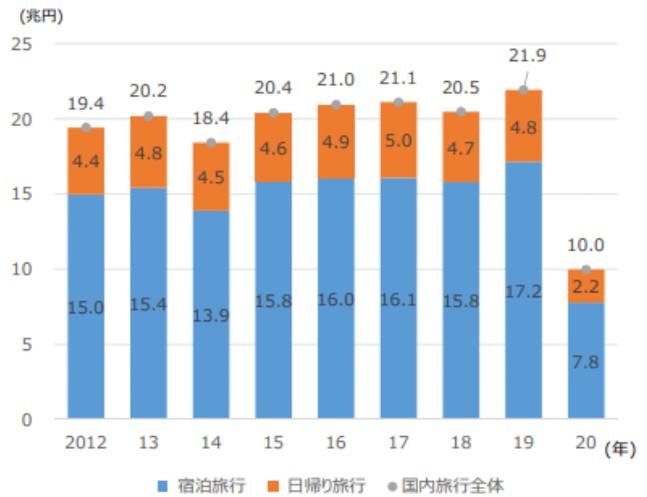
■ 長期化するコロナ禍で被る観光業界・レジャー産業、消費者双方のペイン

2021年6月15日に閣議決定された「令和3年版観光白書」によると、2020年の国内宿泊延べ人数は1億6,070万人（前年比48.4%減）、日帰り旅行延べ人数は1億3,271万人（前年比51.8%減）となり、国内旅行消費額は、10,0兆円（前年比54.5%減）という結果となりました。

(図表 I -26) 日本人国内宿泊旅行延べ人数、国内日帰り旅行延べ人数の推移

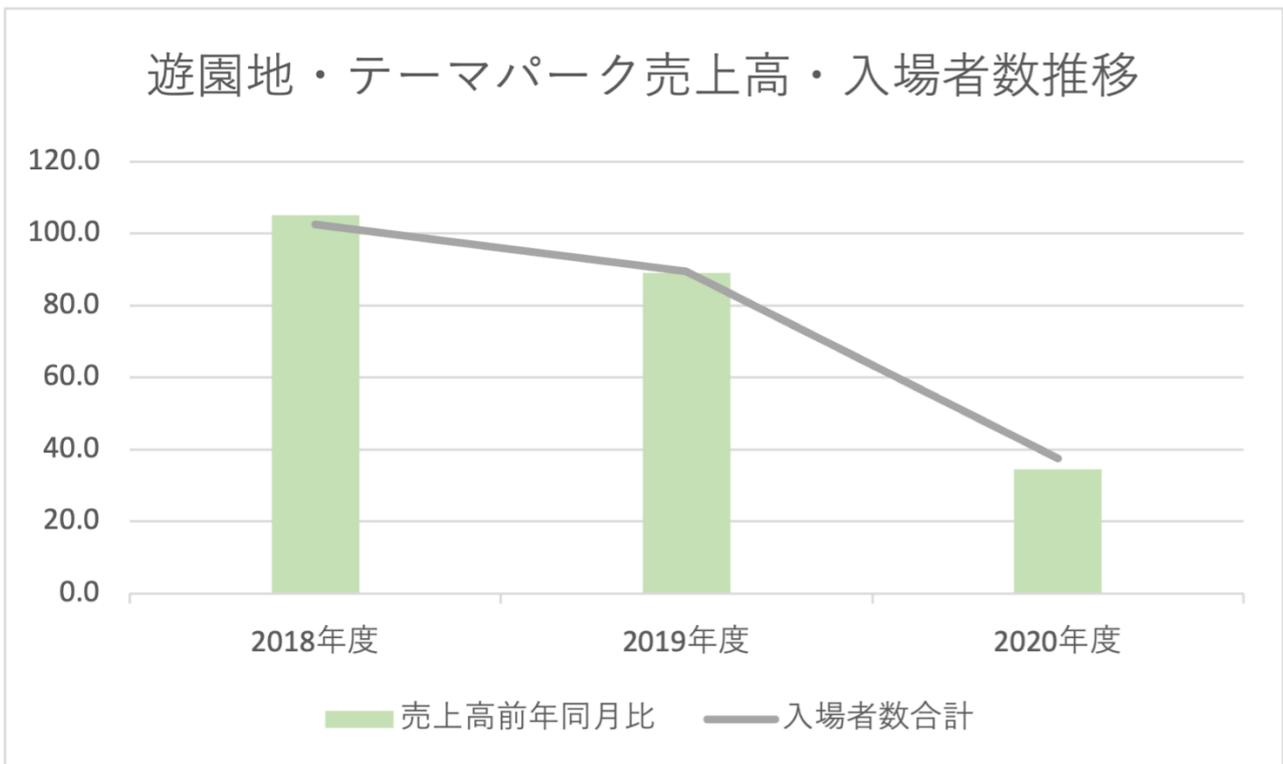


(図表 I -27) 日本人国内旅行消費額の推移



(出典：令和3年版観光白書)

経産省が2021年7月に発表した特定サービス産業動態統計調査によると、遊園地・テーマパーク業における2018～21年度の売上高合計並びに入場者数の推移は、2019年度の売上高が昨年対比で89.0%、2020年度は昨年対比で34.4%と大きく下降していることがわかりました。また、2020年度の入場者数については、昨年対比37.5%と売上高の減少に比例する形で下降しており、観光業界・レジャー産業全体として苦しい状況が続いていることが明らかになっています。



(経産省特定サービス産業動態統計調査を元にアソビュー株式会社にて作成)

また、アソビューが 2021 年 5 月に実施した、遊びやレジャーの予約サービス「アソビュー！」の親子ユーザーを対象にした調査によると、新型コロナウイルス感染拡大の影響による余暇の過ごし方の変更が、子どもに負荷やストレスを与えていると、78.1%が回答しました。子どものストレスになっている主な原因については、遊びに行くことへの制限や行事・イベントの中止、長時間家にいることなどがあげられました。

このような状況から、子どもたちの遊びの選択肢を守るために、レジャー施設における安心・安全の確保や、持続的な運営を見据えた経営判断が急務となっていることがうかがえます。

■ 事業提携の背景および連携体制

コロナ禍で入場時の行列回避・接触回避の実現や、敷地面積あたりの収容可能人数の管理等の必要性を受け、レジャー産業ではデジタル化の緊急性が益々加速しています。しかし、多くのレジャー施設において、「何から着手すべきかわからない」「既存の業務フローに実装するのが難しい」「デジタル化を推進できる人材が社内にはいない」といった課題が見受けられます。このような状況を踏まえ、レジャー業界向け業務支援サービス「レジャークラウドシリーズ」を提供するアソビュー、企業の DX 推進を支援するデジタルシフト社、レジャー施設の運営ノウハウを有する日本テーマパーク開発の事業提携に至りました。この度の提携では、3 社それぞれの強みを掛け合わせた相乗効果によって、レジャー施設の DX を強力に推進し、レジャー産業全体の V 字回復を目指してまいります。

<日本テーマパーク開発の役割・強み>

日本テーマパーク開発は、レジャー施設やテーマパークの運営・経営支援を提供。

「テーマパークから地域社会を元気に！」をミッションに掲げ、閉園を余儀なくしてしまうようなテーマパークを一つでも多くご支援し、社会問題を解決しながら地域社会に「元気」と「笑顔」を届けることに取り組んでおります。

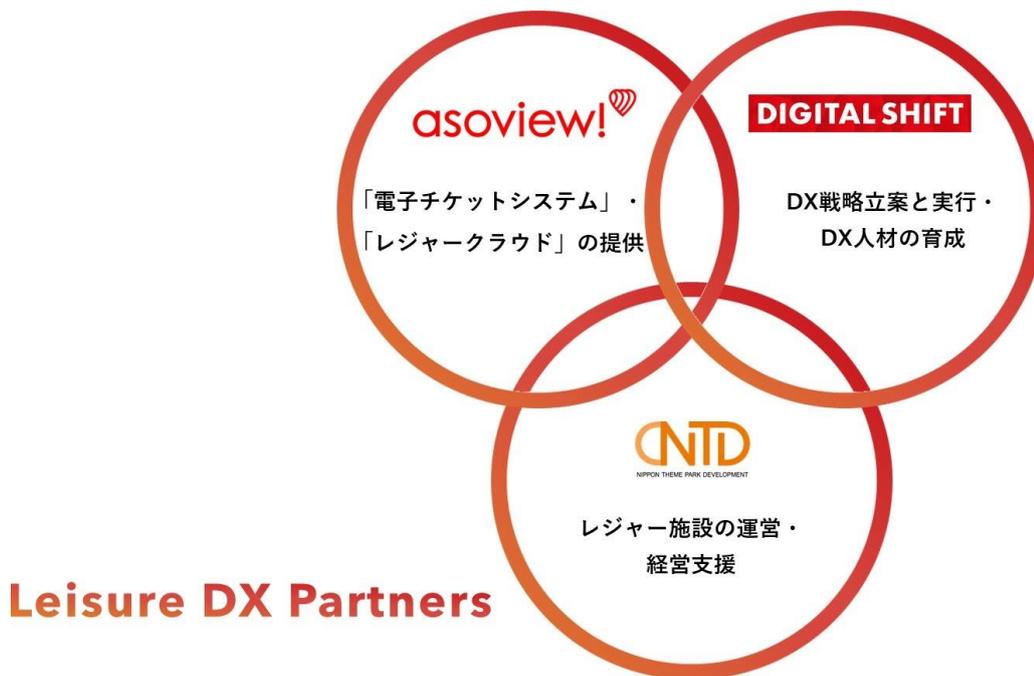
現在は、栃木県に拠点を置く 2 社の経営に携わっておりますが、今後は日本全国のレジャー業界の産業発展に貢献していきます。

<アソビューの役割・強み>

アソビューは、レジャー業界向け電子チケットシステム、業務支援サービス「レジャークラウドシリーズ」を提供。これまでに全国累計 650 箇所以上のレジャー施設にて日時指定電子チケットの導入を進めています。レジャー施設の運営に即したサービスの改良、ブラッシュアップを今後も継続していきます。

<デジタルシフト社の役割・強み>

デジタルシフト社は、「DX 人材の育成」「DX 戦略立案と実行」の大きく 2 つのレジャー DX 支援を提供。20 年以上にわたりデジタルホールディングスグループがデジタルに精通してきた知見を活かし、DX の企画から実践までを一貫して支援いたします。DX の本質である「顧客起点の価値創造」に向け、各レジャー施設の経営状況に合わせた体制を構築し、伴走いたします。



<本提携の対象となるレジャー業種>

- ・遊園地／テーマパーク
- ・動物園／水族館／植物園／フラワーパーク
- ・博物館／美術館／科学館・展望台／タワー
- ・日帰り温泉・公営公園／森林公園
- ・城／城跡／文化遺構／史跡

■ レジャー産業 DX に向けた各社代表からのメッセージ

日本テーマパーク開発株式会社（代表取締役社長 雪本 智史）

当社は地域のシンボルである遊園地をはじめとする観光牧場、動物園、それに付随する宿泊施設や別荘地を活用することでその地域社会が抱える社会問題を解決することをミッションに事業を展開しています。

コロナ禍によりお子様たちが楽しい思い出を作る大切な時期に行動を制限されるだけでなく、施設を運営する側も苦しい環境に置かれています。そのような施設様と一緒に苦しい時期を乗り越えるだけでなくアフターコロナに備えDXの力を活用しながら成長事業とし、お子様たちに笑顔と思い出を提供できればと考えています。

株式会社デジタルシフト（代表取締役会長 鉢嶺 登）

デジタルシフト社が属するデジタルホールディングスグループは、「新しい価値創造を通じて産業変革を起こし、社会課題を解決する。」をパーパスに掲げ、IX（Industrial Transformation = 産業変革）の実現に向けたDXを推進しています。この度の提携は、まさにレジャー産業の変革に向けた第一歩です。

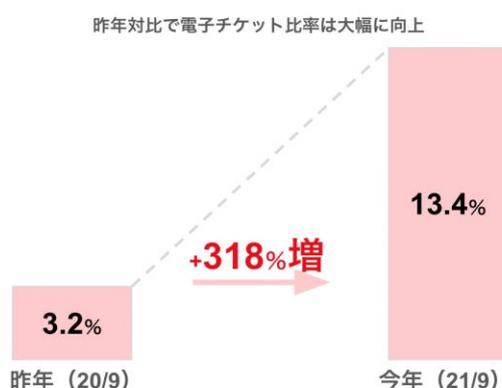
レジャー産業に従事する方々が提供されている「思い出として人の記憶に残る体験」という価値は、紛れもなく多くの人々の人生を豊かにしていると確信しています。この価値の最大化に全力を注いでいただけるようにすることが、デジタル化の重要な目的だと捉えています。レジャーが持つ魅力を次世代に残していくために、共に挑戦できることを楽しみにしています。

アソビュー株式会社（代表取締役 CEO 山野 智久）

地方や近隣のレジャー施設は住民にとっての憩いの場や観光の目的となり、公衆衛生上でも経済発展の上でも地域を支えてきました。さらに子どもにとっても思い出の場所として大人になっても色褪せない思い出の場所として存在しています。長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響により、家族や子どもの遊びに制限が課されていることだけでなく、レジャー施設の存続にも大きな危機が押し寄せています。

「生きるに、遊びを。」をミッションに掲げているアソビューは、遊びは人生を彩る必要不可欠なものであると考えています。子どもや家族、大切な人との遊びの場を残し、豊かな思い出をたくさん重ねられる遊びの場を守っていきたくと考えています。

■ 先行導入事例：那須高原りんどう湖ファミリー牧場



2021年9月より、本提携に先立ち、当社が運営する「那須高原りんどう湖ファミリー牧場」にてアソビューの「日時指定電子チケット」および、「レジャークラウドアナリティクス」を導入。

デジタルシフト社と共同で入場チケットの電子化を推進いたしました。

該当期間内でのチケットの電子化率は、昨年対比 318%増の 13.4%となり、チケット 1 件あたりの受付時間が 73%減少するという結果になりました。

（データ集計期間：2021年9月1日～9月30日）

■ 日本テーマパーク開発株式会社について

私たち日本テーマパーク開発は、地域のシンボルでありますテーマパークをはじめ、観光施設を生かしてお客様に「非日常空間」や「素敵な思い出」を提供します。遊園地という非日常の中で大人も子ども笑顔になる事業を通して家族の絆が深まり幸せになって帰っていただくことが事業の根幹であります。

そういったお客様が喜んでいただく事業を生かしつつ、人材を雇用することで地域活性化に貢献できるよう取り組んで参ります。

設立年月：2016年5月

資本金：5,000万円

代表者：代表取締役社長 雪本 智史

本社：東京都千代田区丸の内1丁目5番1号 新丸の内ビルディング

事業内容：テーマパーク、遊園地等の運営及び管理、コンサルティング

URL：<http://www.n-p-d.co.jp/>

■ 株式会社デジタルシフトについて

株式会社デジタルシフトは、日本全国の企業のデジタルシフトの実現を支援するため、グループ企業のアセットを掛け合わせるとともに、独自のサービスを開発し、企業のデジタルシフトに必要な経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）をワンストップで提供することで、日本企業および日本経済がさらなる発展を遂げるためのエンジンとなります。

設立年月：2020年4月1日

資本金：4.7億円

代表者名：代表取締役社長 CEO 吉田 康祐

本社所在地：東京都千代田区四番町6番 東急番町ビル

事業内容：デジタルシフトに関わる各種支援事業

URL：<https://digitalshift.co.jp/>

■ アソビュー株式会社について

「生きるに、遊びを」をミッションとし、“遊び”が衣食住に並ぶ人生を豊かに彩るものとして、Well-Beingな社会の実現を目指しています。

休日の便利でお得な遊びの予約サイト「アソビュー！」、大切な人に思い出を送る体験ギフト「アソビュー！ギフト」、レジャー観光・文化施設向けDXソリューション事業を提供しています。

設立年月：2011年3月14日

資本金：10億円

代表者名：代表取締役 CEO 山野 智久

本社所在地：東京都渋谷区神宮前2丁目7-7 AURORAビル3階

事業内容：遊びやレジャーアクティビティの予約マーケットプレイス事業、レジャー業界向けDX推進事業など

URL：<https://www.asoview.co.jp>

【本件に関する報道関係のお問い合わせ先】

日本テーマパーク開発株式会社 〒100-6510 東京都千代田区丸の内1丁目5番1号 新丸の内ビルディング

広報 / 矢澤（やざわ） E-mail：goshi-yazawa@n-p-d.co.jp

TEL:03-3218-1900 < 時間 10:00~18:00 >